

京都大賞典

阪神芝長距離重賞(2400m 以上)は、ディーパインパクトの血を持つ馬。
特に父か母父欧州型かノーザンダンサー系の配合馬が走りやすい舞台。

古くから阪神大賞典もそうですし、
阪神芝で行われた菊花賞、天皇賞もそう。
昨年の京都大賞典も該当配合(マカヒキ、アリストテレス、キセキ)が 1-3 着を独占。

本命はヒンドゥタイムズ。

母父ディーパインパクト。父は欧州型のハービンジャー。

去勢効果で柔軟性(末の伸びに繋がる)が出ているのも、
ディープの血が由来の直線スピードが重要な当レースでは強調材料。